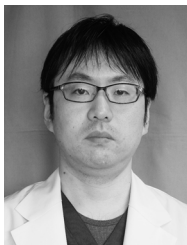


教えて! 市立病院



〈今月のドクター〉

第二内科 医長
小林敏一 医師

いまや国民病とも言われる「がん」。最新の「がんの統計 2019」によれば、日本の2019年のがん死亡数は約38万人で、日本人の死亡原因の1位となっています。

その内、膵臓がんは死亡数が男性4位、女性3位と高く、しかも5年生存率（がんと診断されてから5年後に生存している確率）は

〈第87回〉

すいぞう

膵臓がんになりやすい人、なりにくい人

■問合せ／市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

全がんの中でも最も悪く、10%に満たないのが現状です。その理由はいろいろありますが、「自覚症状が出にくい」、「進行が早い」、「有効な治療方法が他のがんと比較して少ない」といったところが挙げられます。

膵臓がんになりやすい人はある程度判明しています。まず、家族に膵臓がんを経験した人がいらっしゃるれば、自分も膵臓がんになる可能性が高いと考えられます。次に、糖尿病・慢性膵炎・肥満の人です。そして、喫煙、大量飲酒をする人です。

これを読んでいる皆さんの中にも心当たりがある人がいらっしゃるのでは

るのではないのでしょうか。特に、喫煙、大量飲酒をやめることは今すぐに出来る膵臓がん予防です。禁煙・節酒を心がけましょう。

早期発見は、検診でも行われている腹部超音波検査が有効でしょう。ただ、必ず発見出来るわけではないということが膵臓がんの難しいところです。なかなか良くならない腹痛・腰痛があれば、一度病院でCT検査をしてもらうのがよいでしょう。

病気の基本は早期発見・早期治療ではありますが、こう考えると膵臓がんにとって一番大事なことは予防といっても過言ではないかもしれません。